

ようこそ鶴見大学歯学部へ

新入生の皆さん、保護者やご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。将来、歯科医師になるという高い志を持って入学された皆さんを歯学部教職員一同、心から歓迎いたします。皆さんが目指す歯科医師とは国民の健康増進に直結する医療を提供する非常に崇高な魅力ある職業です。本学歯学部では禅の精神を基に医療人として重要な円満な人格を持ち、歯科医学・歯科医療についての高度な知識・技術の習得、並びにその実践力を身につけ、国内外において歯科医療を通じて社会に貢献できる人材を育成しています。ぜひ皆さんには、高い倫理観とプロフェッショナリズムを持った歯科医師になって欲しいと思います。しかし、国家資格を取得するための勉学は決して簡単なものではありません。入学式を迎えた今日、この現実をまず認識し、真摯に学ぶ覚悟を持っていただきたいと思います。大学とは勉強をする場です。毎日の講義、実習には遅刻、欠席することなく、できるだけその場での理解を心がけて下さい。

しかしながら、歯科医師になるための人間形成は試験に合格するための勉強だけでは不十分です。コミュニケーション能力や状況を俯瞰して考え判断する能力、課題を発見して解決する能力、物事を客観的に偏りがないように分析して考える能力、自分の考えや論理を他人にわかりやすく表現する能力など、様々な思考力、判断力、表現力が求められます。こうした能力や人間性を高めるためにも、ぜひクラブ活動やボランティア活動などの課外活動に積極的に参加してみてください。そこで得られた貴重な経験や友人達は、皆さんの一生の財産になるはずです。また、本学の誇る図書館を利用して、たくさんのお読書をしてみてください。論理的な思考が身につくだけでなく、何かに迷った時に問題を解決する有益な示唆を得ることができるはずです。

その他、学生生活や勉強で悩むことがありましたら、学年毎に選任されている主任、担任の先生に遠慮なく相談して下さい。そして、その時々自分に最も大切なことは何か優先順位を考えながら、いつも感謝と恵愛の心を持って、貴重な大学生時代を有意義に過ごしてください。

大学院に入学される皆さんには、大学卒業後もなお学問を追求しようとする向上心に改めて敬意を表したいと思います。現在の歯科医療は膨大な基礎研究や臨床研究の成果を綴った科学論文をもとに発展してきました。大学院を修了するためには必ず学位論文の発表が求められますが、論文執筆は研究者が自己表現する絶好のチャンスであり、未来永劫、著者の名前はその研究領域に刻まれることとなります。論文作成の機会を与えられたことに喜びを感じながら、執筆作業を楽しむことは大学院生に与えられた特権でもあるわけです。ぜひ、4年間の集大成ともなる渾身の学位論文を作成され、それぞれの専門分野で高く評価されることを心から期待しております。

入学後は健康に十分に留意して、特に一人暮らしとなる学生さんは規則正しい生活を心がけて下さい。ここ鶴見の緑濃きキャンパスで有意義な学生生活を送られることを切望し、祝辞とさせていただきます。

令和6年4月5日

歯学研究科長・歯学部長 大久保 力廣